

豊かな「宝の島」だからできること 七福神霊場とレインボーハーモニーフェスティバル

寂れていた八浄寺を、参拝客を数多く迎える人気のお寺へと甦らせ
た住職の岩坪眞弘大僧正は、淡路島の豊かな自然や歴史、文化とい
う資源に着目し島全体の活性化に尽力、各分野で活躍している。寺
を復興し観光客を集めた。淡路島七福神めぐりや、師が企画する
。淡路島レインボーハーモニーフェスティバルについて伺った。



高野山真言宗
蓮台山 八浄寺 住職

岩坪 眞弘 大僧正

国生み神話の淡路島は 七福神にふさわしい土地

八浄寺の復興のためには檀家

さんのお力添えが必要なのです
が、あまり豊かな生活をしてお
られなかった。そこで、お寺の
復興の前に、檀信徒がいかに豊
かになれるかを考える必要があ
ると思ったのです。そのため
に、淡路島全体が豊かになるた

めにはどうすればよいか、それ
にこのお寺がどのように関わ
り、奉仕していくかを考えるよ
うになったのです。

調べてみますと、ここは国生
み神話の島で、大和民族のふる
さとともいえる所だと知ったの
です。また、この島にはお寺と
神社があわせて四百もある信仰
の島だということにもかかわら
ず、これといったお参りがなか

ったのです。そこで淡路島なら
ではの霊場づくりを考えたので
す。豊かな観光資源を生かすた
めにも、観光しながらお寺を巡
っていただけばと。

淡路島が歴史や信仰の素地を
持つだけでなく、豊かな山海の
幸に恵まれた宝島ではないかと
感じ、参拝者に喜んで観光がて
らにお参りいただけるような七
福神の霊場づくりに結びついた
のです。

おかげさまで淡路島七福神め
ぐりは好評で、昭和47年の開創
以来500万人もの方々が全国
からお参りされました。秘仏大
黒天をお祀りする八浄寺も、た
くさんの方にご参拝いただける
ようになりました。全国でも七
福神めぐりはいろいろとあるの
ですが、その中でもトップクラ
スの人気を誇っています。豊か
な歴史・風土や環境・文化にも
支えられた七福神が淡路島の振
興に結びつくことは、とてもあ
りがたく喜ばしいことです。

さまざまな調和から 虹の架け橋が生まれる

日本の神話のふるさとでもある淡路島は、イザナギ・イザナミの伝説や太陽の道を示す巨石など太陽をあがめた痕跡が残っています。そこに、この淡路島に息づいていた海人たちの文化を伺うことができます。日本人の豊かな精神文化の根源は、このような自然に感謝する心にあるのです。

現在、淡路島は明石海峡大橋と鳴門大橋で本州、四国と結ばれていますが、その姿はどこか七色の虹のようでもあります。そして、七といえは七福神。七色の虹が調和する時、太陽の光に帰っていきます。七福神がひとつのハーモニーを奏する時、きつと明るい未来が輝きます。そんな風に七色の個性を発揮し合い、その多様性を尊重しつつ豊かに調和する社会をめざし、その未来を子どもたちに託したい。淡路島レインボーハーモニーフェスティバルの原点は、そんな思いにあります。

海人たちは、海の彼方から豊穡をもたらす神が訪れる「おとづれ」を祈りました。「おとづれ」は「音連れ」の意味もあります。

自然の音から神を感じる。そんな古代人の感性の豊かさを伺い知る、美しいやまとことばです。ね。淡路島ではかつて御料水を運んだ「枯野」という船の魔材から神事用の琴がつくられたと古事記や日本書紀にあります。淡路は「おとづれ」の聖地です。

また、七はドレミの七音階にも通じます。レインボーハーモニーは音楽という意味も込められています。淡路島は海という羊水に浮かぶ母の胎内のようにもあります。母のまなざしが込められた子守歌や童謡を通じ、心身を癒し大きな生命のリズムを響き合わせたい。それがイベントの大きな目的のひとつです。

昨年開催されたフェスティバルでは筑波大学名誉教授の村上和雄先生の記念講演「笑いと感動が無限の可能性を引き出す」とや、郷愁を誘う童謡の祭典などで盛会のうちに終了し、800席が満席となりました。

今後この淡路島レインボーハーモニーフェスティバルを開催したいと思います。

また、淡路島では江戸時代から俳句が盛んでしたが、この「音連れ」の気配を詠んだ俳句を募集する国際俳句まつりもフェスティバルの一環として計画しています。

ツーリズムの目的が多様化する昨今、七福神めぐりは巡礼者と地域が深く響き合うことができる観光をさまざまな形で実現させてきました。さらに、淡路島が本四間を結ぶ単なる「橋桁」に終わらないよう、さまざまなニーズに応えることも課題です。淡路島でしか体験できないような観光のあり方を叶えるエコツーリズムやヘルスツーリズムも視野に入れ、レインボーハーモニーフェスティバルを考えています。神話、歴史、文化、自然といったさまざまな淡路島の豊かな資源を調和させ、世界へ結び未来へと繋がる虹の架け橋を、淡路島レインボーハーモニーフェスティバルで実現したいと思います。

宝塔聳え大黒微笑む 歴史由緒の深いお寺

高野山真言宗 蓮台山 八淨寺



瑜祇七福宝塔



大日如来像・真正仏舎利

国内唯一の瑜祇七福宝塔

淡路市の中心から北へ、ほど遠からぬ田園の中に、朱塗りの宝塔が空の碧に映える。ここ、八淨寺は淡路島七福神霊場の総本山として賑わい、厄除けに開運にと参拝者が絶えない。

縁起を紐解くと、その起源は室町時代の応永年間（1394～1428）に遡る。開基の心了法師が阿弥陀如来造立に寺ははじまり、極楽浄土信仰として栄えるが、時代とともに次第に衰微。江戸時代の延宝年間（1673～1681）、盛斎上人により中興された後、この円融山浄満寺と八幡神社別当寺の平松山八幡寺と合併され蓮台山八淨寺となった。ご本尊の阿弥陀如来は、開基以来六百余年の歳月を越え、惜しめない慈しをたたえている。淡路島の三大祭のひとつ、回り弁天発祥の寺でもある。

平成元年に建てられた現在の本堂は、津軽のヒバ材の立派な建築。宮大工の名匠、大室勝四郎が5年の歳月をかけ伝統の木

造建築の粋を集めたものだ。

平成11年に落慶した荘厳な瑜
祇七福宝塔は、ランドマークと
しても親しまれている。そのユ
ニークな形は、まさに真言密教
の源流である南インドの「南天
の鉄塔」の再来。さらにこの宝
塔にはハイテクが備わってい
る。屋根には「太陽光自動追跡
機」が装備され、採光された光
は塔内の大日如来、真正仏舎
利、百畳にも広がる大壁画「密
教浄土図」を神秘的に浮かび上
がらせるばかりか、光の柱とな
って地下まで貫き、中国の大慈
恩寺から請来した水晶の巨大な
霊玉や、スリランカより請来し
た黄金に輝く釈迦大仏足尊形に
照射し、神秘的な瞑想空間を生
み出している。



太陽採光による神秘的な塔内

人気の「淡路の大黒さん」

秘仏大黒天は霊験あらたかで
「淡路の大黒さん」として親し
まれ、人気を集める淡路島七福
神のひとつとして参拝客が多
い。大黒さんの「ふくろ」は
「福労」ともよばれ、苦労をい
とわずむしろ「ふくろ」にそれ
を詰め、「打出の小槌」を振る
うと邪悪な心を打ち振って「ふ
くろ」から心身共に幸福な人生
があふれ出てくるといわれてい
る。1月26日の初大黒天祈願祭
5月26日の春季大祭がおこなわ
れ、11月26日の秋季大祭では秘
仏尊天が開扉、さらに大黒市も
催され大いに賑わう。

おだやかな波寄せては返す海
も近く、緑豊かな美しい環境に



淡路市の田園の中にただずむ八淨寺

あり、観光がてらにも参詣でき
る。宇宙の霊妙なるパワーが宿
り、神秘と慈悲に包まれた八淨
寺にお参りすれば、心身の裕福
が授けられるだろう。



スリランカより請来の釈迦大仏足尊形

中国・大慈恩寺から請来した水晶の霊玉

淡路島七福神総本院
蓮台山 八淨寺
淡路市佐野8034
TEL.079-9650026
07316

花と緑の島・淡路で人にやさしい医療人を育成 関西総合リハビリテーション専門学校



「今後は同系列の関西看護医療大学との連携も強化します」と語る校長の島田桂吉さん。

心身の障害を克服するためにリハビリテーションは欠かせないが、高齢化社会の到来がささやかれている昨今、その現場で活躍する専門職の養成は社会的な課題ともいえる。淡路市の関西総合リハビリテーション専門学校は、緑が映え潮風香る豊かな環境の中で、技術はもちろん内面まで磨かれたスペシャリストの育成を目指している。



平成13年に開校した関西総合リハビリテーション専門学校は、淡路島で初めての高度教育機関。理学療法・作業療法・言語聴覚の3つの学科で、3年制のカリキュラムで専門士を育成する。4年制の学校もあるが、ここでは3年で国家試験の受験資格が得られるのも魅力だ。

卒業と同時に専門士の称号を得ることができ、それぞれの資格の国家試験を受験することができる。合格後病院や施設などに就職するが、有資格者は引く手あまた。島田校長が「本校の母体である医療法人順心会でもリハビリに力を入れていますの

で、就職に困ることはありません」と語るとおり、理学療法士ではなんと30倍（2008年）もの求人があるそう。就職以外にも大学への編入という選択肢もあり、さらに1年の現場経験を経れば大学院入学への道も開ける。国家試験合格率で理学療法士は100%という年もあり、つねに合格率で全国平均を上回る実績を上げている。

しかし、成績が優秀でも現場で役に立たなければ意味がないと、技術面で実践的な教育を心がけている。また、「対人関係における信頼が、医療の質や効率にも直結するのです」と接遇

の教育を重視。そこで臨床の機会が重要となるが、順心会の全面的なバックアップで臨床カリキュラムは充実した授業が展開されている。

兵庫県内や四国を中心に島外からも学生が集うが、寮や提携マンションも充実。また、優秀な生徒には経済的な支援もあり、学生生活のサポートも厚い。

「人にやさしい人になる」。そして「医療はすべての人のため」。そんな思いを胸に抱いたスペシャリストが、ここから社会へと巣立っている。

作業療法士は今後ますます 社会で重要な役割を担います



関西総合リハビリテーション専門学校
教務部長・作業療法学科 学科長 長倉 寿子さん

作業療法は、心身のさまざまな障害を持つ人を対象に作業を通じて社会への適応や復帰を目指すものです。精神や発達などの障害にも対応しますので、子どもから高齢者まで幅広い対象者に関わります。生活の障害に応じて日常生活や社会生活行為、余暇活動など多様なアプローチがあり、一人ひとりの状態にあわせて作業を選択します。例えば、園芸を例にすると、植物に触れたり世話をしたりする

と、患者さんに生き生きとした良い影響がもたらされる可能性があります。

植物を通じて心に働きかけることが重要で、患者さんが思わず手を伸ばしたくなるような場面を提供し、活動性を高めるだけでなく生活をより豊かにすることも作業療法士の大きな役割のひとつです。

本校では1年次の医療の基礎教育を経て、2年次から専門課程へ。ここで「生活行為Ⅱ作業」という考え方や障害像を勉強し、作業療法士としてどのように関わるかを具体的に臨床を通じて専門技術を学びます。3年次には8週にわたる臨床実習を2施設で実施し、現場で活躍するための実践を積みみます。また、対人援助職として自己洞察も必要となるので、日々のやりとりの中でその感性を養い、常識人としての対応ができるよう指導しています。

社会の高齢化が進む中、障害のある方のみならず家族支援も含め、作業療法士は今後ますます

重要な役割を果たすでしょう。私自身の臨床実践から「住み慣れた地域で生き生きと暮らす」というリハビリの本質を伝え、対象者の方々の期待に応えられる人材を育てていきたいと思っています。



Kansai Rehabilitation College
関西総合リハビリテーション専門学校

理学療法学科 作業療法学科 言語聴覚学科

●PHYSICAL THERAPY ● OCCUPATIONAL THERAPY ● SPEECH THERAPY

〒656-2132 兵庫県淡路市志賀新島7番4

TEL (0799) 60-3600 FAX (0799) 60-3610

ホームページアドレス <http://www.krc-net.jp/> 電子メールアドレス krc@junshin.or.jp



鍬様式の屋根



母屋にある客間



囲炉裏



離れにつづく廊下

自然木の梁

おかげ庵

(五色町鮎原)

安らかに時を過ごす豊かさを知る
文化庁登録有形文化財

匠家

庵主 榎本靖子

写真／山田脩二(淡路瓦師)



文化庁登録有形文化財「匠家 おかげ庵」

淡路島のほぼ中央に位置する洲本市五色町鮎原は、高田屋嘉兵衛の生誕の地でもあります。山の斜面には、水田や棚田がなだらかにつづき、日本の原風景を今に伝えています。

「匠家「おかげ庵」は、もともと白果城家老家であった鮎原の旧家・小川家が江戸後期に建てた家で、星霜をへて朽廃が著しく、解体を余儀なくされていきました。廃墟と化したこの家屋を目見たときに、淡路「瓦が葺かれた鍛建の美しさ」に言葉を失いました。これは、日本人として、是が非でも残さなければならぬと。

補修作業には、姫路城や明石城の修復を行った家引きの第一人者・西沢さんをお願いしました。江戸時代の農村建築の趣をできるだけ残し、現代の息吹を吹き込むことで蘇った囲炉裏は、昔ながらの風情を大切にいたしました。

里山に佇む「おかげ庵」の空間は、都市では味わえない、まるで江戸時代にスリッパしたかのようなひとときに、五感が研ぎ澄まされるのではないのでしょうか。また、御食国といわれてきた食の宝庫と、その風土の素晴らしさを味わっていただきたく存じます。「おかげ庵」が、都会と農村の交流の場となつて、日本が失いかけていた「安らかに時を過ごす豊かさ」に目覚めていただくお役目に立てれば本望です。

匠家 おかげ庵

洲本市五色町鮎原上944

TEL0799・32・1619

神戸淡路鳴門自動車道「津名」宮ICより車で15分

バスで巡る北淡路観光スポット! 花バス運行のご案内

花の季節にあわせて、北淡路のみどころを周遊する
ループバスを運行いたします。

魅力あふれるスポットの数々を結ぶバスに乗って、
北淡路を心ゆくまでお楽しみください。お得な特典付きです。

1日乗車券 大人1,000円/小人500円(税込み)

花バス夢キップは指定の販売所および
淡路ジェノバライン(明石港)、バス車内に販売しております。

交通のご案内 / ここから花バスに乗ろう!



淡路ジェノバライン岩屋港へ

- ◎明石港より岩屋港行き「淡路ジェノバライン」で約13分
- ◎JR「舞子」駅または山陽電鉄「舞子公園」駅下車、「高速舞子」バス停より高速バスで約13分

淡路夢舞台へ

- ◎JR「舞子」駅または山陽電鉄「舞子公園」駅下車、「高速舞子」バス停より高速バスで約20分
- ◎JR「新神戸」駅より高速バスで約60分
- ◎JR「三ノ宮」駅より高速バスで約50分

東浦バスターミナルへ

- ◎JR「舞子」駅または山陽電鉄「舞子公園」駅下車、「高速舞子」バス停より高速バスで約15分
- ◎JR「新神戸」駅より高速バスで約55分
- ◎JR「三ノ宮」駅より高速バスで約45分

淡路ジェノバライン富島港へ

- ◎明石港より富島港行き「淡路ジェノバライン」で約20分

北淡路の観光スポットをお得に巡る

花バス運行



春期 2008年3月29日(土)～5月6日(火)

秋期 2008年9月13日(土)～10月13日(月)

1日乗車券 大人1,000円/小人500円(税込み)

1日乗車券で乗り降り自由!

北淡路観光振興協議会

後援:本州四国連絡高速道路株式会社 神戸管理センター
淡路島観光連盟



ショーゼン・ツアー

兵庫県知事登録旅行業 第2-544号
〒656-2154 兵庫県淡路市木曾下162-3
TEL 0799-62-5222 FAX 0799-62-6827
TEL / www.shozen.com
E-MAIL : tour@shozen.com
営業時間 9:00～17:00(平日)
国内旅行業務管理責任者/山形 義幸

北淡路観光スポットのご案内

- 1/ウェスティンホテル淡路
レストラン10%OFF (ロビーラウンジ・メインバーを除く)
※他の割引との併用はできません。
- 1/兵庫県立淡路夢舞台温室「奇跡の星の植物館」
入館料10%OFF
- 2/淡路島国営明石海峡公園 淡路ロケート
- 3/岩屋ポート
- 3/淡路ジェノバライン明石港
「花バスセット券」販売
岩屋航路 1,700円
- 4/道の駅あわじ
- 4/国際観光ホテル 淡海荘
入浴料100円OFF
- 5/美漁ビュー松帆の郷
大人入浴料100円OFF
- 6/淡路サービスエリア大観覧車
4名様まで10%OFF (5-6名様はお得なセット券あり)
- 7/兵庫県立淡路島公園 淡路ハイウェイオアシス
地ビール・竹ちくわ10%OFF
- 8/兵庫県立淡路景観園芸学校
カフェテリア「風の詩」
ドリンク100円OFF
- 9/あわじ花さじき
- 10/北淡震災記念公園
入館料10%OFF
- 11/海若の宿
- 12/北淡路総合事務所 淡路ジェノバライン 重島港
- 13/東浦サンパーク 東浦花の湯
入浴料100円OFF
- 14/淡路市立中浜移猫美術館
入館料10%OFF
- 14/淡路市立陶芸館
体験料10%OFF
- 15/本福寺水御堂
拝観料10%OFF
- 16/淡路交流の翼港
清掃協力金500円免除

① CHECKマークの付いた施設で夢キップをご提示いただくと、各特典が受けられます。

ここでご紹介している施設には花バスが停まります。
乗り降り自由なので、何ヶ所も回って北淡路を満喫してください。
マップと見くらべてオリジナルの旅をつくれれば、きっと素敵な思い出になることでしょう。

北淡路をぐるぐる遊びつくそう!

見どころ・遊びどころ満載の北淡路。
季節限定の花にふれる、旬の海の幸を味わう、
雄大な橋と海を眺める…など、楽しみ方はいろいろ。
さあ、あなたの北淡路を見つけてください。



⑧ 伊弉諾神宮

津名一宮ICより約5分



① 淡海荘

北淡ICより約5分

P.30~31



② 淡路SA大観覧車

淡路SA下り線
(上り線からも利用できます)

P.32~33



⑥ あわじ花さじき

淡路ICより約15分

P.22~23



④ 桜の展望広場、淡路夢舞台温室「奇跡の星の植物館」、百段苑ほか

淡路IC・東浦ICより約5分

P.22~23



⑦ 大黒天八浄寺

東浦ICより約20分

P.38~39



⑤ ウェスティンホテル淡路

淡路IC・東浦ICより約5分

P.24~25



③ 国営明石海峡公園

淡路IC・東浦ICより約5分

P.22~23



淡路おでかけMAP

⑭ ホテルニューアワジ

洲本ICより約15分

P.26~27



⑮ 淡路夢泉景

洲本ICより約15分

P.28



⑯ ホテルニューアワジプラザ淡路島

西淡三原ICより約20分

P.29



⑪ 高田屋嘉兵衛ゆかりの地

津名一宮ICより約25分

P.17~19



⑫ おかげ庵

津名一宮ICより約15分

P.34~35



⑨ 北淡震災記念公園

北淡ICより約10分

P.35



⑩ パルシェ香りの館・香りの湯

北淡IC・津名一宮ICより約15分

P.34



⑪ 高田屋嘉兵衛ゆかりの地

- 高田屋頭彰館・歴史文化資料館
一葉の花ホール
- 高田屋嘉兵衛翁埋葬墓地
高田屋嘉兵衛翁墓碑(参り墓)
- 高田屋嘉兵衛邸宅跡
一生誕の地と顕彰碑
- 高田屋嘉兵衛翁記念館
- 都志八幡神社

⑩ パルシェ香りの館・香りの湯

⑧ 伊井諾神宮

⑫ おかげ庵



神戸ファッション専門学校

2008ファッションフェア～スパイラル～



ものづくり、ビジネスなど、ファッションに関わる多くのことを学び、神戸をはじめ全国、海外で卒業生が活躍している神戸ファッション専門学校(KFJ)。同じ学校法人福富学園には、神戸ファッション造形大学及び、短期大学部がある。

恒例の「ファッションフェア」は、1月26日、新神戸オリエンタル劇場で開催。コンテスト部門では、学内デザインコンテスト予選を通過した学生たちの力作が揃った。大賞・福富芳美賞、神戸市長賞、田崎真珠賞などをはじめ、数々の受賞が決定。中でも、パリのオートクチュール協会が経営するパリクチュール組合学校は、KFJの姉妹校として10年前に提携してから、毎年同校への留学許可が得られる「パリクチュール組合学校賞」を選んでいる。

ファッションショー部門は「スパイラル」がテーマ。学生たちが各シーンごとのチームをつくり、それぞれのコンセプトに基づいて、デザイン、製作、ステージ構成を手がけた。パワー溢れるステージに、会場を埋めつくした観客は、学生たちに惜しめない拍手を贈った。

ファッション界に羽ばたこうとしている学生たち

大南沙智子さん

コンテスト大賞受賞・
ファッション
クリエイター学科
アパレルデザインコース



新しい時代をキャッチできる感性があると評価され、大賞受賞の大南さん。「エア／空気」「救命具」などにインスピレーションを受けた作品。色と素材にこだわり、浮き具の専門企業等に素材制作を依頼したほど。中学生の頃、KFIのイベントに参加。「先生と生徒の距離が近い、この学校で学びたいと思った」のが入学のきっかけだと。

梶野真由美さん

バリクチュール組合学校賞・
ファッション
クリエイター学科
アパレルデザインコース



服・アクセサリ作りなど「ものづくり」が好きな梶野さんは、KFI入学前から憧れだったバリクチュール組合学校留学の切符を手にした。「パリでは、本物の（ものづくり）が見られるのだと楽しみ。たくさんものを吸収したい」と。作品は「サイレントブラック」をテーマに「暗い」「悪い」などの独特の存在感をもつ「黒」を表現した。

那須雄一郎さん

神戸市長賞・
ファッション
ビジネス学科
ファッションアドバイザーコース



ファッションビジネスを学んできた那須さん。作品製作は苦戦したが、「音の未来」をテーマにした作品で神戸市長賞。「皆さんに助けていただいた」と。昨年のKFIディスプレイコンテストでは吉忠マネキン賞を受賞。将来は自分の店をもち、ディスプレイや音楽に至るまでトータルコーディネートを手がけたいという。

■学科・コース

ファッションクリエイター学科

(3年制)	(2年制)
アパレルデザインコース	ファッションデザインコース
アパレルテクニカルコース	ファッショングッズコース
オートクチュールコース	シューズコース

ファッションビジネス学科

(2年制)
ファッションアドバイザーコース
スタイリスト&コーディネーターコース
ストアマネージメント(新設)

■学校説明会(13:00~15:00)

4月19日(土) 5月10日(土) 5月31日(土) 6月7日(土)
6月21日(土) 7月19日(土)

■夏休みの学校説明会・体験入学(13:00~16:00)

7月25日(金) ファッションショー見学
7月26日(土) ファッションショー見学
7月29日(火) 7月30日(水) 7月31日(木) 8月2日(土)
8月22日(金) 8月23日(土) 8月25日(月) 8月26日(火)
8月27日(水) 8月29日(金)
会場 / 神戸ファッション専門学校

KFI MOVE 開催のお知らせ

日時 / 7月25日(金)・26日(土)
会場 / 兵庫県立美術館 ギャラリー
内容 / ショー、ディスプレイコンテスト、シューズ作品

神戸ファッション専門学校

KOBE FASHION INSTITUTE

神戸市中央区国通6-7

TEL.078-241-8611 <http://www.kfi.ac.jp/>

■中高生ファッション教室 〜ドレスを作ろう〜

4月19日(土) 5月31日(土) 6月21日(土) 7月19日(土)
9月27日(土) 10月25日(土) 11月8日(土) 12月13日(土)
詳細はお問い合わせください ☎078-241-8611

丸子真央さん

(株)VICKY就職決定・
ファッション
クリエイター学科
アパレルテクニカルコース



今年のファッションフェアでは、実行委員として、また1シーンのチームリーダーとして、ショー構成を手がけた丸子さん。卒業後は、ジャヴァグループのVICKYにパタンナーとして就職することが決定。「パタンナーには終わりが無い。これからは企業のパタンナーとして、ずっと研究し続けたい」と向上心をもつ。

藤本あずささん

ファッション
クリエイター学科
アパレルテクニカル
コース在学



ファッションに関する資格の中でも重要な、色彩検定や洋裁技術検定などを1年生のうちから意欲的に取得し、次はパターン技術検定を目指す。高校から服飾を学んでいたが、より技術的、専門的に学びたいとKFIを選んだ。「服飾に関することなら何でも学びたい」と、非常に勉強熱心。将来はパタンナーを目指す。



大南沙智子(大賞)

梶野真由美(バリクチュール組合学校賞)

那須雄一郎(神戸市長賞)

足の裏から伝わるエネルギー

昨年秋、小説『お家さん』を上梓しました。神戸に実在した総合商社、鈴木商店の女主人・鈴木よねの人生を辿りながら、鈴木商店の栄枯盛衰を描いた物語です。双日や神戸製鋼など数々の大企業のルーツでもある鈴木商店という世界を席巻した商社について書くとしたときに、居留地は切っても切れないもので、私たちの原動力になっていたと知りました。

ここに外国の商館がズラリと建

ち並んでいたのですよ。主人公のよねが姫路から神戸に嫁いでくるシーンがあるのですが、居留地で銀の両替をしていた兄に連れられはじめて神戸見物をしたときに、よねは「外国を見た」びっくりしてしまうのです。さらに、その中の横浜正銀銀行、今の神戸市立博物館になっている建物が、外国の商館ではなく日本の建物と聞いてまたびっくりするのです。この居留地に軒を聳やかす外国商館と対等に商売をしていかないといずれ日本も飲み込まれると、女ながらに感



神戸のルーツ、旧居留地 神戸はここから始まった

インタビュー

玉岡かおる
(作家)



昭和初期の名建築として名高い、東京銀行(旧横浜正金銀行)神戸支店を改築した神戸市立博物館(写真は横浜正金銀行神戸支店の外観)

じたのだろうか、そこが物語の出発点となるのです。

それで、私は居留地に何度も足を運ぶのですが、そこに立っているだけで当時の日本人の志というか、前進する力というか、エネルギーが足の裏から伝わってくるのです。港が目の前にあったので、船がどんな人ってくるのを目のあたりにできたのです。外国を見たからこそ「俺たちも追いつけ！追いつけ！」という気概を持つて、遙か彼方を視野を向けていたのでしょう。

神戸港は重要な港と位置づけられ、台湾航路がおかれ、また日清、日露の戦争のための軍港にもなったので海軍がお召し艦を引き連れ、たびたびやって来たのです。わが帝国の艦隊がやって来ると神戸の人たちは熱狂したようです。



大丸神戸店にて

史料を見て思わず笑ってしまったのですけれど、人がひしめいて海に落ちた女性が海軍の隊員に助けられ「軍人さんに助けてもらった」と、溺れたのに嬉しそうに笑っていたそうです。神戸は、普段軍人と接することのない商都ですから、新鮮な体験だったのでしょう。そんな逸話に、「新しもの好き」の神戸つ子の気質が百年以上前にもあったんだなど（笑）。

その「新しもの好き」はやっぱり居留地があったからなのかもしれません。この街を歩いていた外国人はもちろん、日本人も新しい。建物も、ガス灯も、居留地に立つだけで新しいものと接することができた。神戸つ子は居留地から世界を見て、そして、自分たちがどうあるべきかを考えて、日本の国の発展につなげていったのでしょうね。

自由と志が街にあふれていた

居留地は神戸の原点だと私は思うのです。実は居留地も香港と同じように

1899年に外国から返還されたのですが、1997年の香港返還のような大きな騒ぎにならなかったようなのですね。神戸が居留地を飲み込む形で街ができあがってきて、外国人の住む地域と日本人の住む地域とが混在して、「返還」という意識はなかったのかもしれない。居留地は返還前から神戸の一部であるばかりか、神戸そのものであったのですね。

神戸の歴史を辿ると、楠公さんのような古い「和」の歴史もありますが、外国と日本の文化が激しく衝突し、インパクトの大きかったその時代を忘れては神戸を正しく理解できないだろうなと思います。ですから『お家さん』の中ではたびたび西洋と日本の衝突をテーマに書いたのですね。

西洋文明との衝突がこの居留地であつたわけですが、さらに、アジアへの進出の足がかりとしても、居留地は大きな役割を果たしていたのです。西洋人たちはアジアを経由して神戸にやって来たわけですから、今では飛行機が飛んでアジアを一体の市場と考える発想なんかもできていますけれ



国指定の重要文化財に指定された、
復旧工事後の「十五番館」

ど、百年も前に神戸の商人たちの視野はアジアに向かって開かれていたのです。台湾航路で台湾はもちろん、その先の香港や上海も同じエリアの内でした。資源のない日本には目を向けていなかったくらいのものであったのです。大阪商人は歴史があるばかりに国内のことで覇権を争い政府との深い結びつきもあつた一方で、神戸商人は逆にバックグラウンドもない、歴史も藩閥もない、ただ熱い志ひとつで戦う、自由で可能性のある人々だったので。

歴史から未来が聞こえる場所

神戸商人は世界を見つめつつも、律儀さと誠実さと義を重んじ、古き良き日本人の高潔さを持つて商売に臨みました。ただカネを儲ければいいという訳ではなかった

のです。鈴木商店の大番頭だった金子直吉は土佐の出身で、商人だけど魂はサムライ。彼などはまさに高潔なやり方で、世界と渡り合いました。それが後の滅亡の道になっていくのかもしれない。

東インド会社の頃から、欧米諸国はアジア

を搾取するというものの見方だったのですが、神戸商人のそんな態度に「日本は同じようにはいかない」と思い知ったのもここ居留地なのです。

神戸は西洋文化の窓口でした。でも、居留地でまずお金を両替して、品物をやりとりして生きたビジネスがおこなわれるという経済活動がなければ映画もゴルフも入ってこなかったのです。

歴史は教養だけでは意味がありません。そこから未来に生かさない。神戸は低迷が続いていると言われます。そんなときは狭い日本に窮することなく世界を目指した神戸商人たちに学ぶことが、チャンスにつながるかもしれません。



せんね。居留地という神戸の原点に立つと、今でも彼らの足音が聞こえてくるような気がします。

2008年4～6月NHK神戸文化センター短期講座

玉岡かおるの「お家さん」一代記

～鈴木商店の黎明編・雄飛編・全盛編～

講師 作家・『お家さん』著者 玉岡 かおる

■日 時 第3土曜日 10:30～12:00
4/19、5/31、6/21 ※5月は第5土曜日です。

■受講料 全3回 (会員)6,300円 (一般)7,245円

■持ち物 筆記用具、『お家さん』上・下巻(各1,680円・新潮社)をテキストとして使用しますので、お手元に置いて受講ください。
ご希望の方には、受付で販売も行なっています。

■お申込み・お問合せは、TEL (078) 360-6198

NHK神戸文化センター

〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1-2-2

JR神戸駅 南口出ですぐ、地下鉄ハーバーランド駅 徒歩3分、
阪急、阪神、山陽 高速神戸駅 徒歩4分

新たな物語が、「アーバンライフ神戸三宮ザ・タワー」から始動

玉岡かおるさんの著「お家さん」は、神戸に実在した総合商社、鈴木商店の女主人・鈴木よねの波乱に満ちた生涯を描いている。居留地で神戸人と外国人が交わったことで、鈴木商店は先進的な発想でビジネスを成功させ、世界を席巻する商社へと上りつめていく。この先駆的な「新しもの好き」の神戸っ子気質は、星霜をへた今でも連綿と受け継がれ、現在の神戸のビジネス、ファッションの礎となっている。「新しもの好き」はやっぱり居留地があったからなのかもしれません。居留地という神戸の原点に立つと、今でも彼らの足音が聞こえてくる」と玉岡さん。

この神戸の原点・旧居留地のアメリカ総領事館跡地、東遊園地の南隣りに、平成2009年12月の完成をめざして、始動したのが「アーバンライフ神戸三宮ザ・タワー」。「神戸会心」—この言葉を胸に深く刻み込み、34階建て271戸の上質で心にかなう集合邸宅を創造する。最上階34階では、275㎡というゆとりあふれるスペースに、2つのリビングと4つのベッドルームを配置。すべての部屋がバルコニーに面する贅沢な間取りも登場する。とくに、32階から34階のフリープラン対応住戸を擁し、オーナーのライフスタイルに合わせたレイアウトも可能となる。

旧居留地からはじまった神戸。新たな物語が、今また「アーバンライフ神戸三宮ザ・タワー」から始動しようとしている。



www.kobe271.com

お問い合わせは「アーバンライフ神戸」(3F)または「三宮ザ・タワー」(1F)まで
0120-271-336

営業時間 10:00～18:00(水曜定休)
※携帯・FAXからのご利用は、1階・ reception でお受けいたします。



アーバンライフ 参証

三宮地所リアエステートサービス



人の尊厳と菓子

下村俊子
兵庫県実行委員会委員長・
(株)神戸風月堂代表取締役会長

播州平野に四百年の時を刻んだ木造建築、姫路城の存在は、何と意義深いことでございましょう。第二次大戦で焦土化した姫路市。市民の皆様はどのような思いで白鷺城を見上げられたのでしょうか。

このたびの菓子博開催では、多くの皆様のご指導、ご協力をいただくことになりました。深く感謝申し上げます。先日来、ボランティアとしてご参加くださいます方々とお話する機会を重ねさせていただいておりますが、開催地となりました姫路城周辺のすべてを知り尽くし、お客様と共に迎えたいという気持ちで寄せてくださっております。困難の多い時代であるからこそ、お菓子が人の尊厳を守り得る存在でありますように願って、只今、準備の最終段階を動んでいます。



第25回全国菓子大博覧会・兵庫によせて

比屋根毅
兵庫県実行委員会副委員長・
(株)エーデルワイス代表取締役会長

今回、地元姫路で開催されます菓子博は、開催100年目の記念すべき大会となります。

本来全菓博は、和菓子を中心とした博覧会ですが、洋菓子発祥の地・兵庫での開催ということで、洋菓子協会も力を合わせて開催に向けての準備を進めております。

姫路城を中心とした素晴らしいロケーションの会場では、エーデルワイス所蔵のヨーロッパのアンティーク製菓器具、美術品等を展示したミュージアムや、神戸港開港140周年を記念して40名の技術者が60日をかけて制作しておりますお菓子の「日本丸」の展示、有名パティシエによるお菓子作りの実演やイートインコーナーなど、ご来場いただく皆さんに楽しんでいただける企画を数多く用意いたしております。

見どころ満載の全菓博にぜひお越しください。

お菓子が創る幸せ物語

井上賢
兵庫県実行委員会事務局事務総長・
(株)白鷺陣屋代表取締役

21世紀は心を癒やす時代といわれています。それは、人と人との関わりを大切にすることではないでしょうか。お菓子は、そうした関わりをそっとお手伝いします。お菓子は、心の情景を豊かに育んでくれるのです。

伝統と創り手の「心」と「技」が響き合い、「五感を満たす」総合芸術とも称えられるお菓子。お菓子は、甘く、美しく、おいしい夢をもったものです。

「健やかに、朗らかに、和やかに、幸せな暮らしであらいたい」と願う、人々のこころを、平成の菓子文化は、いろいろな場面で満たしてくれることでしょう。

お菓子が創る幸せ物語—これからも、お菓子のある暮らしを願って。

第25回全国菓子大博覧会・兵庫

姫路菓子博2008



会期 4月18日(金)～5月11日(日)

時間 9:30～17:30(入場は16:30まで)

会場 姫路城周辺(姫路城完成400年・世界文化遺産登録15周年)

入場料金	当日券	前売券
	大人 2,000円	1,800円
	シニア 1,600円	1,400円
	高校生 1,400円	1,200円
	中学生 800円	700円

小学生以下は入場無料(大人の同伴引率がある場合に限る)

お問い合わせ

第25回全国菓子大博覧会・兵庫 兵庫実行委員会事務局

TEL.079-225-5151・5161

<http://www.kasihaku2008.jp/>



史上最高の菓子芸術「和・洋工藝菓子 姫路城」



和・洋工藝菓子職人のコラボレーションにより、精巧にできた工藝菓子「姫路城 白鷺の夢」が登場します。その他、洋菓子のエーデルワイスチームによる「日本丸」など、職人の技が光る工藝菓子が多数出展されます。



姫路城の制作



「日本丸」制作風景

菓子博オリジナルのレビュー 「歌劇★ビジュ」特別公演

元OSK日本歌劇団トップスター・那月峻を中心に、元宝塚歌劇団生徒や劇団四季出身者らのメンバーが、あるパティシエを主人公にした夢いっぱいのオリジナル・神戸レビュー公演を行います(期間中、平日4回公演、土日祝日は5回公演)



野点庭園「菓心庵」



姫路城下町をイメージした町並みの中お菓子の実演販売などが

**日本最大のお菓子の祭典が
姫路で開催されます**

明治44(1911)年、東京赤坂において、帝國菓子館大品評会として開催されて以来、約100年の歴史と伝統のある、全国菓子大博覧会が、4月から姫路で開催。近畿においては、昭和29年の京都開催以来、54年ぶりの開催となる。

兵庫県には、お菓子の神様とされる田道間守(たじまもり)を祀る、菓祖神社の総本社・中嶋神社が豊岡市にあるのをはじめ、姫路や赤穂などの城下町では、茶道文化とともに、和菓子の文化が発展してきた。また、明治の開港以来、神戸を中心に広まった洋風文化のひとつとして、洋菓子が発展、全国的に洋菓子のまち神戸が有名となった。南京町から中華菓子も発展し、兵庫県の菓子博は、全国的にも珍しい、和・洋中の菓子が一体となったもの。今年完成400年を迎えた姫路城周辺を舞台に、兵庫県らしいお菓子の博覧会が幕を開ける。